

海苔の端材を活用した商品開発・販売による 食品ロスの改善と地域活性化

【活動グループの紹介】

千葉県立生浜高等学校（以下「生浜高校」）は、全日制と三部制定時制（午前・午後・夜間）の普通科を併設しています。生徒一人ひとりのライフスタイルに合わせた柔軟な学びが可能で、単位制を採用しているため、自分のペースで学習を進めることができます。また、日本語を母語としない生徒も多く、国際色豊かな環境であることも、生浜高校の特徴です。ビジネス研究部には、全日制・定時制を問わず現在6名が所属しており、授業では関われない仲間と出会えるコミュニティとなり、学年を超えて和気あいあいと活動しています！

[ホーム - 千葉県立生浜高等学校](#) ←学校の詳細はこちらから！

【取組の紹介】

千葉海苔問屋協同組合から提供いただいた、板海苔の製造過程で出る端材を活用し、海苔を使ったレシピの考案やオリジナル商品の販売を行っています。この活動のきっかけは、千葉県の特産物である海苔の県内消費量が、全国1位から2位に下がってしまったことがあります。「もう一度1位に返り咲きたい」という思いから、取り組みを始めました。レシピを考案した後、顧問の先生が商品化に向けて協力してくれる企業を探し、企業への説明は生徒自身が行っています。現在販売している商品は人気商品「海苔餃子」と「海苔アイス」です。オリジナル商品の販売を通じて、フードロスの改善と千葉房州海苔の魅力発信に取り組んでいます。

グループ名

ビジネス研究部
(千葉県立生浜高等学校)



Q1 楽しいと感じるのとはどんな時ですか？



朝市やお祭りでの販売など、学校外の方と関われる機会はとても楽しいです。大好きな商品をお客さんに「おいしい」と言ってもらったり、感謝の言葉をいただけたりすると、嬉しく、自信にもなります！

ビジネス研究部の
みなさんにお聞きしました！



Q3 珍しい海苔商品を販売しているのはなぜですか？

私たちの活動を広めるうえで、インパクトがあった方が良いと考えたことから、このような珍しい海苔商品を販売しています。過去にはチョコレートやマフィン、クッキーも商品化し、販売していました！一番人気は海苔餃子です！



Q2 活動するにあたって大変なことはありますか？

全日制・定時制の部員がいるため、全員が揃う空き時間はお昼休み以外ないことで大変な面もあります。ですが、チャットを活用して、スケジュール調整や情報共有を行うことで、皆で協力して活動できています。



環境を保全しながら
海苔の魅力を伝えていきます！

Q4 他に取り組んでいることはありますか？

砂浜のマイクロプラスチックを回収し、海の美化に努めるビーチクリーン活動に参加をしています。また、ラジオ番組に出演し、自分たちの活動を発信することも行ってきました！千葉県の誇る海苔と海を守っています。



取材を終えて

10月上旬、生浜高校を訪問し、「みどり戦略学生チャレンジ」にエントリーしている「ビジネス研究部」の皆さんに、取り組みの進捗状況やその他の活動について取材させていただきました。あいにく部長・副部長さんは不在でしたが、4名の生徒さんにお話を伺うことができました。学年を越えて仲が良く、楽しそうに活動について語る姿がとても印象的で、取材中も終始和やかな雰囲気でした。

中学生の頃、地元のお祭りで食べた「海苔チョコ」の美味しさに感動したことがきっかけで、地元の魅力を広めている活動に興味を持ち、ビジネス研究部への入部を決めたという生徒さんもいらっしゃいました。海苔を通じて地域の魅力に気づき、行動に移すきっかけとなったそのエピソードからは、オリジナル商品を販売する活動が地域への愛着や関心を育むうえで大きな効果を発揮していることが感じられました。

現在は「海苔肉まん」と「海苔羊羹」の商品化に向けて活動中とのことで、皆さん「美味しかった」と話してくださいました。商品化の実現、そして皆さんの活動を通じて、千葉海苔の魅力がさらに広まっていくことを、私たち一同、心から応援しています！取材にご協力いただき、ありがとうございました！

